

林 務 課

1 概 況

森林は、諏訪湖を取り囲む山地と、八ヶ岳・霧ヶ峰山麓及び釜無山・入笠山山麓等に分布し、カラマツ、アカマツが主要樹種となっている。

管内の森林面積は、50,821ha、森林率 71.0%（県全体 78.0%）で、うち民有林は、41,816ha である。なお、主要樹種であるカラマツは、18,399ha で民有林立木地面積の 46%を占めている。

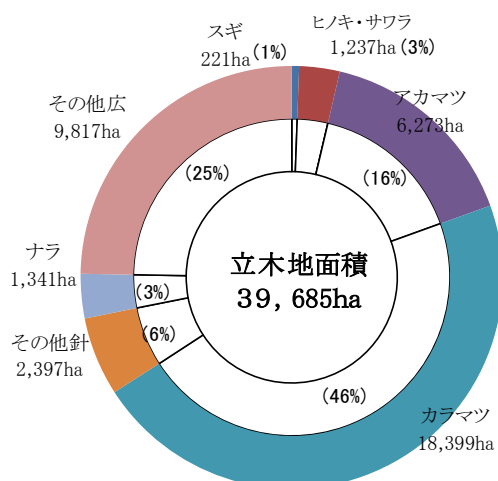
(1) 市町村別森林面積等

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

市町村名	項目	総面積 ha	森林面積 ha	森林率 %	民 有 林	
					面積 ha	蓄積 千m ³
岡 谷 市		8,510	5,675	66.7	5,653	1,250
諏 訪 市		10,917	7,291	66.8	7,291	1,426
茅 野 市		26,659	20,088	75.4	15,118	2,703
下 諏 訪 町		6,687	5,647	84.4	4,016	804
富 士 見 町		14,476	10,158	70.2	7,776	1,675
原 村		4,326	1,962	45.4	1,962	347
計		71,575	50,821	71.0	41,816	8,205
県 全 体		1,356,160	1,058,006	78.0	685,428	134,636

(2) 樹種別森林面積（民有林）

(平成 30 年 4 月 1 日現在)



2 健全な森林づくり

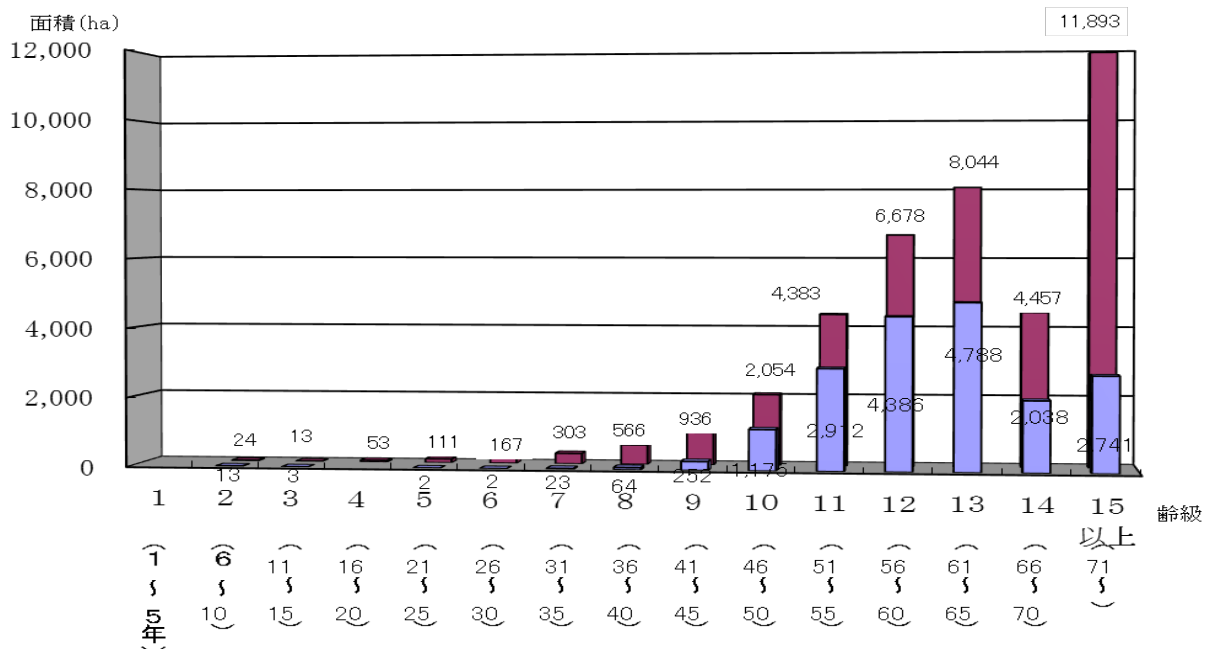
管内の民有林は、戦後植林された森林が成熟しつつあり、計画的な間伐と搬出による材の利活用を推進している。

平成 20 年度からは、「長野県森林づくり県民税」を活用した事業を加え、健全な森林づくりに集中的に取り組んでいる。

(1) 民有林の齢級別面積

凡例	
	全体
	カラマツ

(平成 30 年 4 月 1 日 現在)



(2) 間伐実績と目標

(単位 : ha)

区分	5 年 の 間 伐 実 績						30 年度 目 標
	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	計	
管 内	1,025	952	824	804	747	4,352	700
県全体	21,821	16,761	15,221	13,634	11,314	78,751	

(3) 林業労働力

林業従事者数は 129 人で、森林組合及び素材・造林業（会社）・個人林業営
業体・NPO法人が全体の 78%を占めている。（単位：者、人）

区 分	森林組合	素材・造林業(会社)	個人林業営業体	NPO法人	建設業(会社)	合 計
事業体数	1	10	1	1	6	19
比率	5 %	53 %	5 %	5 %	32 %	100 %
林業従事者数	15	66	6	13	29	129
比率	12 %	51 %	5 %	10 %	22 %	100 %

注) 平成 30 年度林業事業体調査による。

3 森林づくりのための基盤整備

(1) 保安林の面積

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

種別	水源かん養	土砂流出防備	その他	計
			(土崩・防風・水害・干害・保健)	
面積	5,400ha	4,126ha	69ha	9,595ha
比率	56.3%	43.0%	0.7%	100%
民有林面積		41,816ha	保安林率	22.9%

注) 長野県民有林の現況(平成 30 年度)による。

(2) 治山事業

保安林の機能を高度に発揮させるため、計画的な実施に努めている。（単位：円）

事業種別	平成 30 年度 実績		令和元年度 計画	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費
復旧治山	4	80,006,400	(2) —	(49,572,000) —
緊急予防治山	1	22,820,400	3	50,000,000
防災林造成	1	5,659,200	2	13,000,000
水源森林再生対策	(4) 0	(121,770,000) 5,103,000	2	50,000,000
奥地保安林保全緊急対策	(2) 1	(52,002,000) 38,005,200	(1) —	(38,005,200) —
予防治山	2	47,509,200	(1) 1	(8,851,600) 38,000,000
機能強化・老朽化対策	—	—	1	28,000,000
県単治山	3	30,531,600	(1) 2	(6,199,200) 26,000,000
計	(6) 12	(173,772,000) 229,635,000	(5) 11	(102,628,000) 205,000,000

注 1) 上段()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は発注工区数(委託を除く)

注 2) 平成 29 年度ゼロ国債及び平成 30 年度補正は、平成 30 年度に含む

注 3) 令和元年度県単治山は、5 月末時点の確定箇所・事業費

(3) 林道事業

林業経営の基盤である林道は、平成 46 年度（令和 16 年度）末で林道密度 14.3m/ha を目標に整備を進めており、平成 29 年度末では 6.1m/ha、進捗率は約 42.4%となっている。

林道網整備長期計画（平成 7～46 年度）

全体計画 林内道路		内 訳（計画）				平成 29 年度末林道現況		
延長	密度	林内公道		林 道		延長	密度	進捗率
m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	%
899,000	21.6	301,568	7.2	597,432	14.3	253,356	6.1	42.4

(単位：円)

事業種別		年度	平成 30 年度 実績		令和元年度 計画	
			箇所数	補助対象額	箇所数	補助対象額
補助	林道	改良	1	35,316,000	(1) 1	(13,683,600) 78,570,000
		点検・診断	2	2,322,000	6	4,565,000
	林業専用道	開設	1	15,120,000	1	18,630,000
	林道施設災害	林道復旧	1	4,104,400	—	—
計			5	56,862,400	(1) 8	(13,683,600) 101,765,000

注) 上段()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は路線数（点検・診断は委託）

4 野生鳥獣被害対策

特定鳥獣管理計画等にもとづき、捕獲及び捕獲個体処理対策、集落周辺の環境整備等を実施し、野生鳥獣による農林業被害の軽減を図っている。

(1) 野生鳥獣による被害額及び捕獲数（狩猟を含む） (単位：千円、頭・羽)

区分		年度					
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
ニホンジカ	被害額	64,343	64,860	58,882	52,884	43,572	36,808
	捕獲数	4,011	5,002	5,749	4,216	3,628	3,533
ニホンザル	被害額	1,174	1,661	1,769	2,055	2,471	2,469
	捕獲数	164	141	107	111	50	46
カモシカ	被害額	3,902	5,545	6,205	3,413	3,153	3,656
	捕獲数	2	0	2	6	8	3
イノシシ	被害額	3,872	4,403	1,645	5,024	1,162	1,008
	捕獲数	169	141	172	88	139	138
その他獣類	被害額	3,722	4,054	3,978	5,064	6,289	6,780
	捕獲数	191	242	284	375	367	368
鳥類	被害額	11,426	5,883	5,428	4,717	5,509	8,367
	捕獲数	626	340	578	552	617	555
合計被害額		88,439	86,405	77,907	73,157	62,156	59,088

(2) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金 (単位：円)

事業種別		平成30年度実績		令和元年度計画（要望額）	
		事業量	補助金額	事業量	補助金額
緊急捕獲活動支援	有害捕獲	2,336 頭	14,352,000	3,193 頭	19,738,000
	(小計)		14,352,000		19,738,000
国庫	広域捕獲支援	3 市町	906,000	4 市町	1,164,000
	(小計)		906,000		1,164,000
県単	ツキノワグマ学習放獣 (計画は大型獣緊急放獣)	4 頭	151,200	9 頭	332,600
	シカ等個体数調整・捕獲	342 頭	843,500	843 頭	2,085,000
	集落等捕獲隊活動支援	1 市	378,000	1 市	350,000
	鳥獣被害対策実施隊員支援	6 市町村	318,650	6 市町村	345,900
	残渣処理作設経費	2 箇所	51,000	1 箇所	50,000
	(小計)		1,742,350		3,163,500
合計			17,000,350		24,065,500

5 林業生産状況等

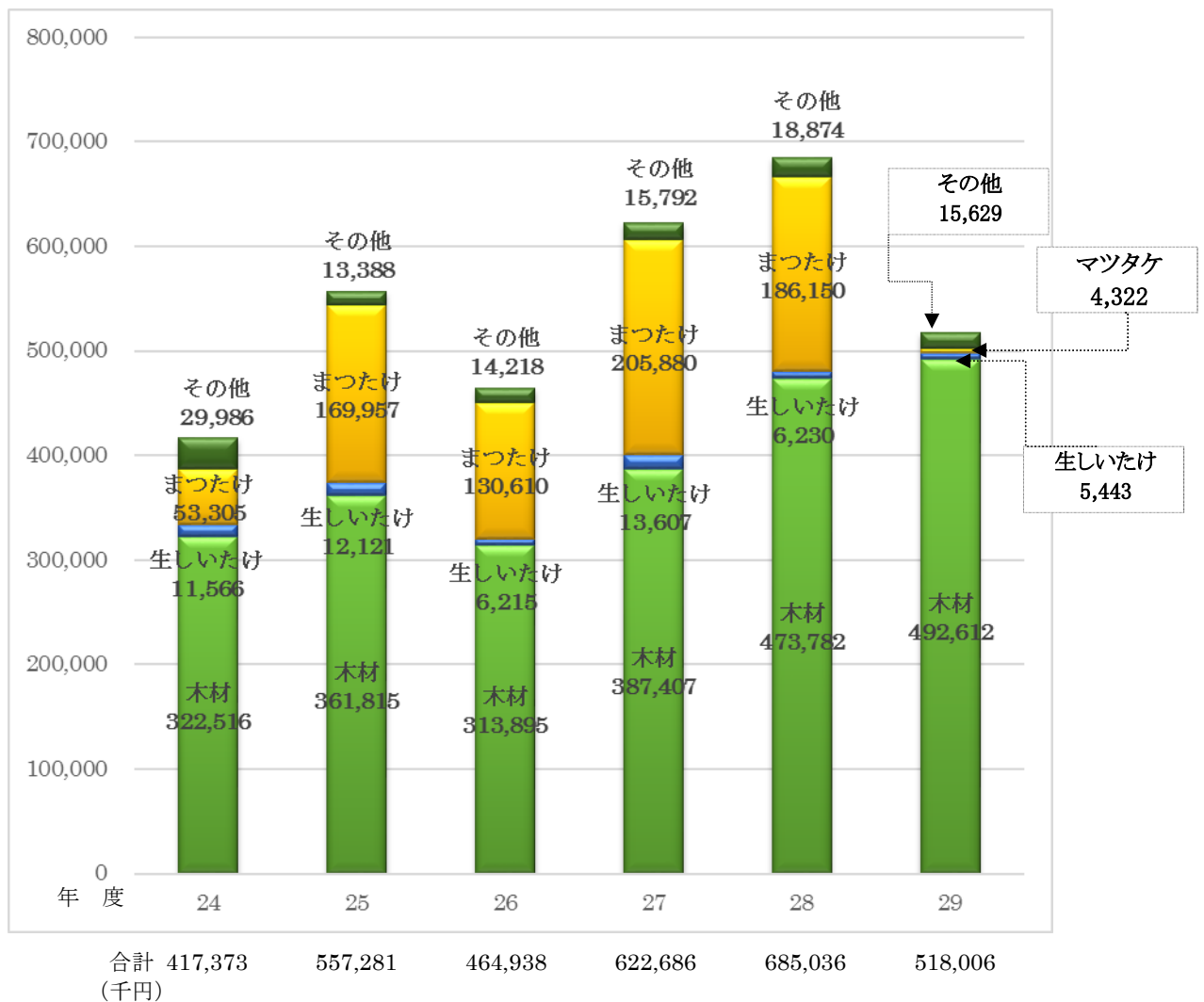
平成 29 年度の林業生産額は、518,006 千円で前年比 75.6%となった。

木材生産は、森林経営計画による計画的な生産や森林作業道等の基盤整備が着実に進んでいることから、今後においても安定的な生産量を確保できる見込みである。

まつたけは、平成 24 年以来の大凶作となり、生産額が激減した。

(H28:10.4 t、H29:0.1 t)

林業生産額の推移



6 森林税活用事業

平成30年度から第3期目の森林税がスタートし、これまでの里山整備に加え、教育や観光等、多面的な森林の利活用に使途を広げ、地域や様々な分野の方々による主体的な里山の整備・利用を推進している。

平成30年度森林税活用事業実績

区分	平成30年度実施内容	箇所等	補助金額・面積等
1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備			
① 防災・減災のための里山等の整備	【みんなで支える里山整備事業】 「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所の間伐に要する経費を補助	諏訪振興局管内一円	27,880千円 98ha
① 県民協働による里山の整備・利用	【みんなで支える里山整備事業】 永明寺山里山整備利用地域において、集落周辺の電線や建物に隣接する立木の特殊伐採等の経費を補助	茅野市(永明寺山里山整備利用地域)	7,776千円
	【里山整備利用地域活動推進事業】 永明寺山里山整備利用地域において、森林整備体験、道標案内看板の設置、自然観察会、きのこ菌打ち体験等に係る経費を補助	茅野市(永明寺山里山整備利用地域)	80千円
	【里山資源利活用推進事業】 永明寺山里山整備利用地域において、林内歩道の整備に係る経費を補助	茅野市(永明寺山里山整備利用地域)	975千円
地域で進める里山集約化事業	間伐事業実施地の森林所有者の合意形成や、所有者の境界を明確化する取組に係る経費を補助	振興局管内一円	948千円 60ha
① 県単河畔林整備事業(建設部)	市町村が管理する準用河川の河畔林整備に係る経費を補助	準用河川 富士見町落合 母沢川	5,000千円
小計			42,659千円
2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用			
① 地消地産による木の香る暮らしづくり事業	学校における木工工作など、県産材利用の取組に係る経費を補助	岡谷市(岡谷田中小) 茅野市(米沢小)	350千円 31千円
小計			381千円
3 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用			
① 森林の教育利用の推進	【学校林等利活用促進事業】 学校林の活用を推進するため、放置され利用困難になっている学校林の整備に係る経費を補助	茅野市(米沢小)	404千円 1.65ha
① 観光地における景観形成のための森林等の整備	【観光地等魅力向上森林景観整備事業】 観光地等の魅力向上を図るため、景観に合致した森林整備等に係る経費を補助	茅野市日向木場展望台 茅野市車山高原	396千円 719千円 1.25ha
	【観光地の景観整備(建設部)】 観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備の実施	諏訪湖周 波崎～石舟渡(豊田)	4,000千円
小計			5,519千円
4 市町村に対する財政調整的視点での支援			
森林づくり推進支援金	森林に関する様々な課題解決のための市町村の独自の取組に対し支援	岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村	1,286千円 1,347千円 1,785千円 737千円 988千円 499千円
小計			6,642千円
合計			55,201千円